

滋賀県の大学に通学されている女子学生の方

子宮頸がんワクチンをまだ
受けていないあなたへ

滋賀医大病院で
接種することが
出来ます！



滋賀医大病院はHPVワクチン接種後に生じた症状について、適切な診療を提供するために指定されている、県内唯一の協力医療機関です。

キャッチアップキャンペーン（※裏面）における無料（公費）接種は2025年3月で終了します！！

子宮頸がんやワクチン（安全性）については裏面をお読みください

予約はこちら

077-548-2576（滋賀医大母子女性診療科外来）

予約時間 平日 14時～17時

※接種をご希望の方は必ずお電話でご予約の上、お越しください。



滋賀医科大学医学部附属病院

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

主催 滋賀医科大学医学部
附属病院

後援 滋賀県健康医療福祉部
健康危機管理課



子宮頸がんについて知りたいあれこれ

子宮頸がんとは

日本では毎年11000人が発症し、年間3000人ものが命を落としています。20歳～40歳代の若い女性に多いがんでライフサイクルにとっても大きな影響を与えてしまいます。子宮頸がんの原因の多くはヒトパピローマウイルス（HPV）といわれています。子宮頸がんワクチンはそのヒトパピローマウイルスの感染を防ぐワクチンなのです。

ヒトパピローマウイルス（HPV）とは

HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性のうち50%～80%は、HPVに感染していると推計されています。性交渉を経験する年頃になれば、男女を問わず、多くの人々がHPVに感染します。そして、そのうち一部の女性が将来、高度異形成という子宮がんになる前の病変や子宮頸がんを発症することになります。

HPVワクチンの安全性について

HPVワクチンについては、大規模な調査研究の結果、重い副作用の発生頻度が接種した人と接種していない人との間で差がなかった（ワクチン接種と関係がない可能性が高い）と報告されています。

※キャッチアップキャンペーンとは

平成9年度生まれ～平成18年度生まれ（誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日）の女性で、定期接種の対象年齢（小学校6年から高校1年相当）の間にHPVワクチン接種を逃した方は現在、公費（無料）でワクチンを受けることができます。ただし、2025年3月末で終了予定です。



滋賀医大病院のHPはこちら



HPVワクチンに関する情報はこちら（厚生労働省HP）

